

中2

数学

小テスト

こたえ

名前

式による説明

____月 ____日

1 数を文字の式で表す

各20点【40点】

次の数を、文字を使った式で表しなさい。

- ☐
- (1) 整数
- n
- の次の整数

 $n + 1$

- ☐
- (2)
- n
- を整数とすると、偶数

 $2n$

2 説明を完成させる

各20点【60点】

次の説明の □ にあてはまる式やことばを答えなさい。

- ☐
- (1) 連続する3つの整数で、もっとも小さい数ともっとも大きい数の和は、まん中の数の2倍になる。このことを、次のように説明しました。

〔説明〕まん中の整数を n とすると、もっとも小さい数は ア $n - 1$ 、もっとも大きい数は イ $n + 1$ と表される。

その2つの数の和は、 $(\text{ア}$ $n - 1$) + $(\text{イ}$ $n + 1$) = ウ $2n$

ウ $2n$ は、まん中の数 n の エ 2 倍である。

- ☐
- (2) 奇数と奇数の和は、偶数になる。このことを、次のように説明しました。

〔説明〕 m, n を整数とすると、1つの奇数は ア $2m + 1$ 、もう1つの奇数は イ $2n + 1$ と表される。

それらの和は、 $(\text{ア}$ $2m + 1$) + $(\text{イ}$ $2n + 1$) = ウ $2m + 2n + 2$ = $2(m + n + 1)$

$m + n + 1$ は整数だから、 $2(m + n + 1)$ は エ 偶数 である。

- ☐
- (3) 2けたの自然数から、その数の十の位の数と一の位の数との和をひいた差は、9の倍数になる。このことを、次のように説明しました。

〔説明〕2けたの自然数の十の位の数 a 、一の位の数 b とすると、その自然数は ア $10a + b$ と表される。

その差は、 $(\text{ア}$ $10a + b$) - $(a + b)$ = イ $9a$

a は整数だから、 イ $9a$ は ウ 9 の倍数 である。

時間 _____ 分 _____ 点 _____ / 100点

